

姫カツシンポジウム Q&A

質問	回答
現在、公立高校の教員をしています。高校教員でも姫カツの指導者登録は可能ですか。	可能です。 中学校教員と同様に、地方公務員法に基づく「兼職兼業」の許可を得ることで、姫カツの指導者としてご参加いただけます。専門的な知見を持つ皆様のご協力は、子供たちの活動の充実に不可欠です。ぜひ「指導者バンク」へのご登録をお願いいたします。
市が運営される姫カツは未来永劫続く仕組みなのですか。	将来にわたり、行政が責任を持って支援していく予定です。子供たちがスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を、持続可能な形で守り続けることは行政の責務であると考えていますので、今後も時代の変化に応じた適切な支援を継続してまいります。
将来的には、福知山ユナイテッドの様に各姫カツクラブが一般社団法人化し自走運営するようになりますか。	「自立した運営」は部活動地域展開の目指すところです。将来的に自走を希望するクラブに対しては、その主体性を尊重し、自立に向けた支援を行います。一方で、小規模なクラブが個別に事務局機能を抱えるのは負担が大きいという側面もあります。そのため、市（姫カツ運営事務局）が引き続き事務をサポートする体制も維持し、それぞれのクラブの規模や状況に合わせた最適な形を模索してまいります。
自立運営するためのノウハウ研修や、サポート体制等は姫路市が考えられていますか。	段階的な「伴走型支援」を想定しています。自立を目指すクラブに対しては、移行期間を設け、運営ノウハウを段階的に引き継いでいくような体制を検討しています。研修会の開催や個別相談など、スムーズな運営移行ができるよう支援してまいります。
例えば、平日の学校部活動と土日の姫カツクラブ、どちらも野球部に入った場合、大会はどちらのチームの一員としても出場できますか。	競技の特性（チーム型・スクール型）により異なります。「チーム型」の競技（軟式野球など）については、原則として「姫カツクラブ」からの出場となります。一方、「スクール型（個人競技など）」の競技については、従来通り「学校部活動」からの出場となります。
姫カツクラブ及び指導者は、年度ごとの更新となるのでしょうか。また活動拠点が年度で変わるケースも考えられますか。	原則として年度単位の更新となりますが、手続きの簡略化に努めます。クラブの認定および指導者登録は、原則として年度ごとに更新手続きを行っていただきます。ただし、皆様の負担を軽減するため、可能な限り簡略化した手続きとする予定です。また活動拠点については、クラブ代表者からの変更申請がない限り、継続して同じ場所で開催することを基本とします。